

## ごあいさつ

近年、日本各地で予想外の地震・津波、豪雨・洪水、竜巻・突風、噴火などの大規模な災害が発生しており、そのたびに全国からの支援による災害復旧活動が行われています。しかし、その復旧活動は自治体の対応、事業場の対応、そして個人対応と様々で、公助と共助や善意による協力互助を中心に行われているのが現状です。地域全体の体系的な支援活動はいまだ不十分で日ごろの一般来訪者、高齢者、子供等へのわかりやすい防災学、避難等の教育訓練もあわせて今後の課題として浮き彫りになっています。

「一般社団法人九州産業コンサルタント協会・安全防災委員会」は、「博士等」科学技術の専門家と、「卓越した技術士」による地域・技術開発、社会インフラ整備の専門家及び人の安全と健康衛生に携わる「労働安全・衛生コンサルタント等の実務者・インストラクター等」によって発足しております。本委員会においては災害リスクの特定、予防、復旧に対して地域に密着した総合的、組織的、具体的に取り組む防災対策、人に優しい避難等の仕組みづくりを行い「災害に負けない九州を造る」という大きな目的のために法人発足以来の地道な活動を重ねております。

このたび九州地方熊本県で発生した予期せぬ地震の被災を受け、当法人としても災害復旧に対するインフラ対応、人の心に近く寄り添い安心・安全を早期に取り戻すことができるように産学官との協働、安全安心のシステム構築に向けた早期復旧方法の策定、防災・避難マニュアル化、リスク特定・提言措置等を講じているところです。

これからも引き続き「世界の憧れの九州づくり」、日本全体の防災活動支援、災害復旧活動指導支援に向けて、あらためて自助、共助、互助、公助の精神を礎としております。当面は、地域型災害対策、事業所固有型災害復旧構築手法、BPI・(事業継続計画)産学官が体系的、効果的に活動できる支援活動のあり方等についても提言、指導、協働、支援活動を強化してまいります。

何卒。皆様方のご協力とご支援をお願い申し上げます。

理事長 齋藤 清美  
安全防災委員長 長野 一

# 安全防災委員会の事業活動の説明

平成 28 年 8 月 6 日 (第 6 回定期総会用事前審議録)

## 安全防災委員会

本安全防災委員会は西日本における自然災害、産業災害、先端機械による生命、財産、および社会システムへの被害、喪失、損壊、爆発、燃料・有害物等の流出により発生する恐れのある甚大な被害の発生を事前調査・予防を支援して、その業種固有の科学的な管理手法等の開発・導入、普及啓発を行う。将来的にも事業場ごとに安全防災対策に向けたリスク排除&最小化の普段の活動により、最小被害で回避できるよう最新の安全・防災体制を整備する目的のために 28 年度より安全防災支援事業活動を行う。

安全部会長 永野 一

防災部会長 齋藤清美

教育・訓練部会長 元永優一

研修部会(内閣府・気象庁・防衛庁)その他(消防署、警察署、国土交通省、各県危機管理事務局)

連携団体 公益社団法人 日本技術士会防災支援委員会 公益財団法人地球環境産業技術研究機構 京都大学防災研究所 九州大学雲仙観測所 ほか

## 定款変更に伴う措置の内容

① 会員区分の拡大( 技術士以外の法人会員・安全防災関係企業、関係公共機関・団体、弁護士、弁理士、公認会計士、防災士、NGO、NPO、ボランティア団体)

② ②安全・防災事業計画の拡大(リスクアセスメント・診断安全対策手順書、防災対策手順書、BPI・事業継続計画)